

シリーズ ⑥⑥

我が家の家庭教育

長塚 佐藤 明子

我が家は、勤人の主人と東陽小学校四年生の長女の三人家族です。娘が生まれて十年の月日が流れました。

娘は、幼稚園へ行くのを嫌がったりしたこともありましたが、小学校四年生になった現在は元気で楽しい学校生活を送っています。先生、お友達、地域の人々にささえられここ

まで成長したのだと有難い気持ちになります。元気で楽しく学校へ行かれることが一番私達夫婦が願っていたことです。

楽しく元気で学校へ行くためには毎日の規則正しい生活

がなければなかなかむずかしいと思

生活即教育

活、真面目な生活がすべての教育の

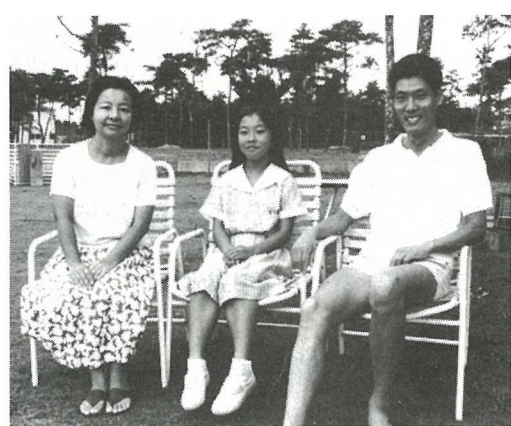
います。特に我家のような核家族では生活がルーズになりがちなので母親の私の自覚がなにより必要です。

そんな中で私がいつも頭の片隅においていたことは『生

基礎となるのだという気持ちで過してまいりました。

子供を与えられたことにより親である私達も共に育てられているというのが実感です。娘が遊びに勉強に充実してい

る様子を見るにつけ、親である私達も共に学び合える気持ち



▲自宅の庭で、佐藤さんご一家



児童・生徒

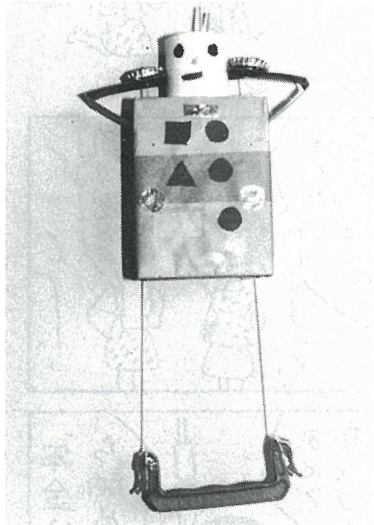
作品コーナー

今月の児童・生徒の作品コーナーは、日吉小学校児童の作品をご紹介します。

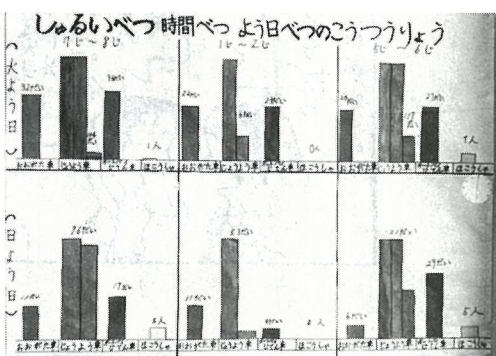


1年 宇井 誉昭くん

糸を引くとばんざいをするようにしました。



〔ばんざいロボット〕



〔種類・時間・曜日別交通量〕



2年 郡司 宏美さん

自動車が、家の前をどのくらい通るか、調べてみました。あまり多かったので驚いてしまいました。